

CentreCOM[®]
AR220E

取扱説明書・簡単編

©2001 アライドテレシス株式会社

目次

はじめに	4
1 製品概要	5
2 コンピューターの設定	6
3 機器の接続	8
4 本製品の設定	11
5 クライアント コンピューターの起動	13
6 接続の確認	13
付録	14

安全のために



必ずお守りください

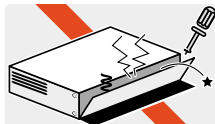


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれぬい 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

通風口はふさがぬい

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがぬい

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のある場所には置かぬい

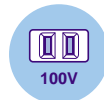
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

交流100Vの電源でお使ぬいください。

異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



電圧注意

電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・暖房器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜け

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。
部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないで下さい。



取り扱いはていねいに

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

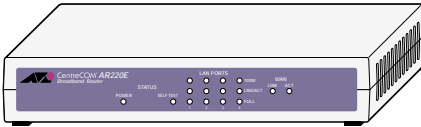
はじめに

この度は、「CentreCOM AR220E」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

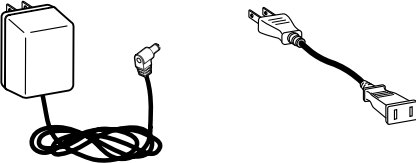
■ 内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです(下記以外に添付紙が同梱されている場合があります)。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたらお手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

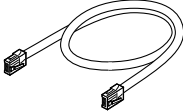
- ・ CentreCOM AR220E 本体



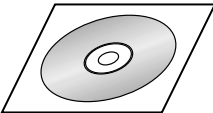
- ・ 専用 AC アダプター
- ・ 延長用電源ケーブル



- ・ UTP ケーブル 1m (1本) カテゴリー-5・ストレート



- ・ 付属 CD-ROM (1 枚)

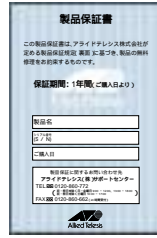


収録内容 TFTP Server プログラム
FirstAid Agent プログラム
Acrobat Reader Ver.4.0
取扱説明書・詳細編 (PDF 形式ファイル)

- ・ 取扱説明書・簡単編 (本書)



- ・ 製品保証書

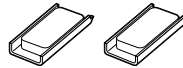


- ・ シリアル番号シール (3 枚)



- ・ ゴム足 (粘着タイプ 4 個 : 本体取付済み)

- ・ マグネット (2 個)



- ・ ウォールマウント用タッピングスクリー (2 個)



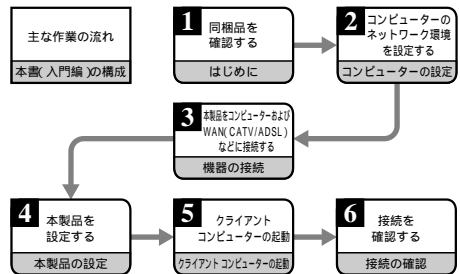
- ・ ウォールマウント用プラスチックアンカー (2 個)



■ 取扱説明書について

本製品の取扱説明書は、簡単編 (本書) と詳細編 (付属 CD-ROM 内に PDF 形式ファイルとして収録) の 2 編に分かれています。

入門編では、本製品の設置方法と簡単設定による設定方法について説明しています。本設定で動作しない場合、または他の機能をご使用になる場合には、詳細編 (付属 CD-ROM 内に収録) をご覧ください。



- ・ 本製品で使用可能な機能については「A.Web ブラウザーによる設定可能項目一覧」14 ページを参照してください。
- ・ 付属 CD-ROM の使い方については、「付録 B. 付属 CD-ROM の使いかた」14 ページを参照してください。

1 製品概要

本製品は、ADSL や CATV で提供される高速インターネットアクセス環境に対応したブロードバンドアクセスルーターです。10BASE-T/100BASE-TX の自動認識ポートを 4 ポート装備したファーストイーサネットスイッチとしてもご利用いただけます。

- ケーブル(CATV) / ADSL モデムに接続し、NAT/ENAT 機能により、LAN 上の複数のコンピューターからインターネットに接続することが可能
- 1 つの IP アドレスで、253 台のクライアントが接続可能
- 4 ポートの 10Mbps/100Mbps イーサネットスイッチを内蔵
- インターネットからの不正アクセスを防止する NAT/ENAT 機能
- パケットフィルタリング機能
- Web ブラウザーによる簡単設定
- DHCP サーバー / クライアント機能
- PPPoE に対応

1.1 各部の名称と機能

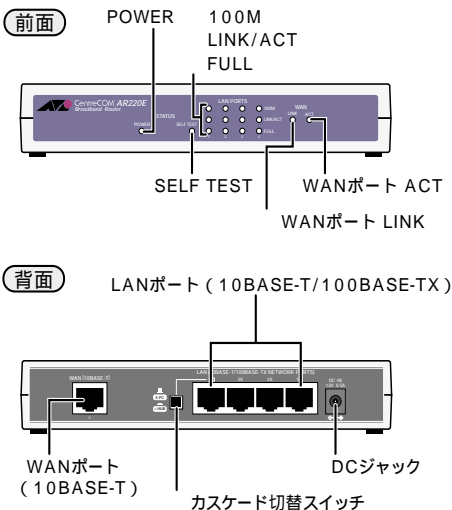


図 1.1-1

POWER (緑)

本体に電源が供給されているときに点灯します。

SELF TEST (橙)

システム初期化時のセルフテスト中に点灯します。

100M (緑)

ポートが 100Mbps で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbps で動作していることを示します。

10Mbps/100Mbps の切り換えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的にを行います。ユーザーが設定する必要はありません。

LINK/ACT (緑)

本製品のポートと接続装置とのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。

FULL (緑)

ポートが Full duplex で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half duplex で動作していることを示します。

WAN ポート LINK (緑)

本製品の WAN ポートとケーブル/ADSL モデムとのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。

WAN ポート ACT (緑)

本製品の WAN ポートと LAN ポートとの送受信が正常に行われているときに点滅します。

WAN ポート (10BASE-T)

本製品とケーブル / ADSL モデムまたは既存のネットワークとを接続するためのポート (RJ-45) です。(MDI 仕様)

カスケード切替スイッチ

ポート 4 をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。

出荷時設定は「PC」です。

= HUB (スイッチが押し込まれている状態)

カスケード接続するときのカスケード接続用ポート (MDI) として使用します。

X PC (スイッチが飛び出している状態)

通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポート (MDI-X) として使用します。

LAN ポート (10BASE-T/100BASE-TX)

10BASE-T/100BASE-TX の UTP ケーブルを接続するためのスイッチ機能を持ったポート (RJ-45) です。

ポート 4 は、カスケード切替スイッチによって、カスケード接続用ポートとして使用するか、通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポートとして使用するかを設定することができます。

DC ジャック

AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクターです。

2 コンピューターの設定

本製品を利用したインターネット接続ができるように、お使いのコンピューターのネットワーク (TCP/IP) 設定を行います。ネットワーク設定は接続するすべてのコンピューターで行う必要があります。

また、あらかじめネットワークアダプターの設定がされている必要があります。

この設定により、AR220E との接続も可能になります。

2.1 Windows 編

■ Windows Me (98/95) の設定

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」を開き、「現在のネットワークコンポーネント」リストの中から、「TCP/IP → (ネットワークカード名)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

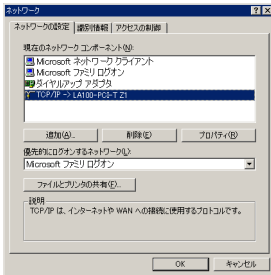


図 2.1-1

- (2) 「TCP/IP のプロパティ」画面で「IP アドレス」タブの「IP アドレスを自動的に取得」を選択し、「OK」をクリックします。

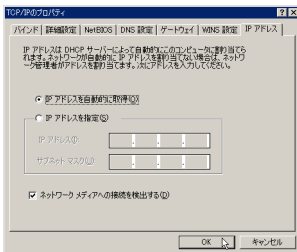


図 2.1-2



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合「TCP/IP のプロパティ」画面の「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順」欄に指定されたドメイン名を入力して「追加」ボタンを押してください。

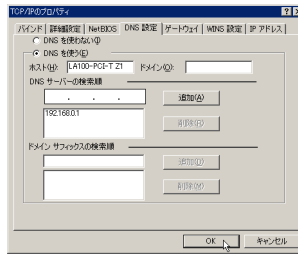


図 2.1-3 DNS 設定例

- (3) 「ネットワーク」画面で「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、コンピューターを再起動してください。

■ Windows 2000 の設定

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開き、「ローカルエリア接続」をクリックします。



図 2.1-4

- (2) 「ローカルエリア接続状態」画面で「プロパティ」をクリックします。

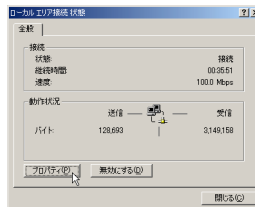


図 2.1-5

- (3) 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面のリストの中から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

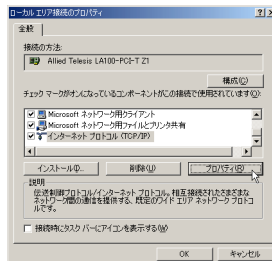


図 2.1-6

- (4) 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面で「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」をクリックします。

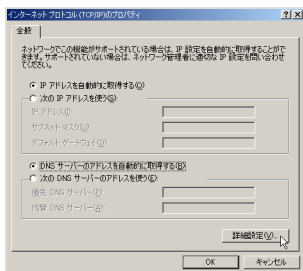


図 2.1-7

- (5) 「TCP/IP 詳細設定」画面で「DNS」タブを選択し、下部の「この接続アドレスを DNS に登録する」のチェックを外してください。

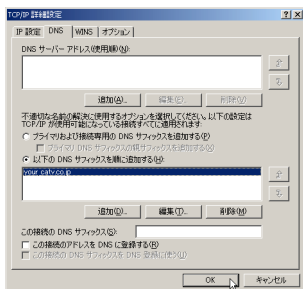


図 2.1-8



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合
「以下の DNS サフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンを押して指定されたドメイン名を入力してください。

- (6) 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、コンピューターを再起動してください。

■ Windows NT 4.0 の設定

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」を開き、ネットワークプロトコルリストの中から「TCP/IP プロトコル」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



図 2.1-9

- (2) 「Microsoft TCP/IP のプロパティ」画面の「IP アドレス」タブで、「アダプタ」欄にお使いのネットワークカードが表示されているのを確認し、「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」を選択して、「OK」をクリックします。



図 2.1-10



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合
「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順序」欄に指定されたドメイン名を入力して「追加」ボタンを押してください。

- (3) 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、コンピューターを再起動してください。

2.2 Macintosh 編

■ Mac OS 9.x (8.x) の設定

- (1) 「コントロールパネル」の「TCP/IP」を開き、「經由先」から「内蔵 Ethernet」、「設定方法」から「DHCP サーバを参照」を選択してください。



図 2.2-1



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合「検索ドメイン」に指定されたドメイン名を入力し追加してください。

- (2) 「TCP/IP」ウィンドウを閉じて設定を保存してください。

■ Mac OS X の設定

- (1) 「システム環境設定」を起動して「ネットワーク」を開き、接続ポートとして「内蔵 Ethernet」を選んでから「TCP/IP」タグを選択してください。「設定」プルダウンメニューから「DHCP サーバを参照」を選択してください。



図 2.2-2



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合「検索ドメイン」に指定されたドメイン名を入力し追加してください。

- (2) 「保存」をクリックして設定を保存してください。

3 機器の接続

3.1 設置する前に

■ インターネット回線契約

本製品を設置するために必要なインターネット接続アカウント情報は、ご契約されているプロバイダーやサービスによって異なります。以下のような、接続するインターネット回線環境（ケーブル / ADSL インターネット接続、PPPoE 接続など）の情報をあらかじめ用意しておいてください。

通常のケーブル / ADSL インターネット接続の場合

・ IP アドレス

インターネットサービスには、IP アドレスを自動的に配布する場合と、IP アドレスを固定的に割り当てる場合があります。ご利用のインターネットサービスが、どちらの方式を採用しているか確認してください。IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、その IP アドレスを確認してください。

・ サブネットマスク

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、サブネットマスクを確認してください。

・ デフォルトゲートウェイ（デフォルトルータ）

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、デフォルトゲートウェイ（デフォルトルータ）を確認してください。

・ DNS サーバーアドレス

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。DNS サーバーが複数指定されている場合も、それぞれの IP アドレスを確認してください。

・ ドメイン名

ご利用のインターネットサービスによっては、ドメイン名の設定も必要になる場合があります。

■ PPPoE（PPP over Ethernet）接続の場合

ご利用のインターネットサービスが、PPPoE 接続方式を採用している場合については PPPoE 接続ソフトなどの説明書をあらかじめご用意ください。

■ プロバイダーへの申請

ご契約されているプロバイダーやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、ケーブル / ADSL モデムに直接接続するネットワーク機器（本製品も含むコンピューターなど）の MAC アドレスをプロバイダーに対して事前申請してください。



注意

・ MAC アドレスの事前申請が必要かどうかは、ご利用のインターネットサービスによって異なります。インターネットサービスプロバイダーに確認してください。

- ・MACアドレスの事前申請が必要なインターネットサービスの場合、プロバイダーへの申請および登録が完了するまで本製品を利用したインターネットアクセスはできません。また、すでにお使いの機器（コンピューター等）のMACアドレスをプロバイダーに申請している場合、本機のMACアドレスの再申請が必要になります



MAC アドレスについて

イーサネット (Ethernet) に接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二のユニーク (unique) なアドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト (48 ビット) によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。

本製品のMACアドレスは本体底面に記入されています (表記はすべて 16 進数)。

本製品に貼付されているのはWAN側のMACアドレスです。LAN側のMACアドレスについてはブラウザ設定画面のシステム情報で確認できます。

00 90 99 xx xx xx
 バンダーID 通し番号

バンダーID

LANバンダー (LAN機器を製造しているメーカー) がIEEEに申請することにより得られる識別番号です。

通し番号

この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたものです。この通し番号と本製品の「シリアル番号シール」の番号に関連はありません。

■ 設置場所

本書冒頭の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。

マグネットによる取り付け

付属のマグネットを使用し、本製品をOAデスクの横などの垂直な場所に設置できます。

マグネット取り付け位置の前側にあるツメとマグネットのツメの方向を合わせ、マグネットをツメの反対側から本体に差し込み、強く押し付けます。

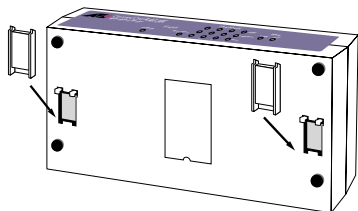


図 3.1-1



設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。



指示

ケーブルの重みにより、機器が落下しないように確実に取り付けてください。

落下により、ケガの原因となることがあります。



禁止

マグネットで機器を高所に取り付けしないでください。機器の落下により、ケガの原因となることがあります。



禁止

マグネットで機器を振動、衝撃の多い場所や不安定な場所に取り付けしないでください。機器の落下により、ケガの原因となることがあります。



禁止

マグネットで機器をOAデスクなどに取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつくおそれがあります。



禁止

マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により、記録内容が消去されるおそれがあります。



禁止

マグネットをコンピューターやディスプレイなど磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により、故障の原因となることがあります。

壁面に取り付ける場合

付属のウォールマウント用タッピングスクリューを使用すると、本製品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。



注意

- ・石膏ボードやベニヤなど、中空になっている壁に取り付ける場合は、付属のプラスチックアンカーを併用してください。
- ・本体とUTPケーブルを合わせ、最大5kg程度の垂直重量が加わりますので、しっかりとした壁に取り付けてください。手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けしないでください。

- (1) 次の点を考慮し、設置場所と設置方向を決めてください。
 - ・電源ケーブルとUTPケーブルの接続が可能であること
 - ・LEDの表示が監視可能であること
- (2) タッピングスクリューを埋め込む位置を決めます。このとき、タッピングスクリューの間隔が本体底面にある2つの取り付け穴の間隔と同じになるよう注意してください。



ネジの立たない壁への取り付けには、プラスチックアンカーを使用します。プラスチックアンカーは、あらかじめドリルで開けておいた穴に差し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。

- (3) ネジ頭を5mmほど残して、タッピングスクリューを壁 (またはプラスチックアンカー) にねじ込みます。
- (4) 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴に差し込むようにして、本体を壁に取り付けます。ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかりと固定させてください。

■電源

必ず付属の AC アダプターを使用し、AC100V のコンセントに接続してください。それ以外の AC アダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

なお、AC プラグ部が AC100V コンセントに接続するほかの機器のじゃまになる場合は、付属の延長用電源ケーブルを接続してお使いください。

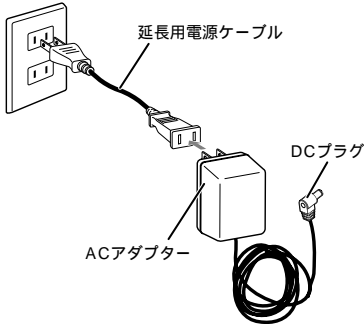


図 3.1-2

■起動と停止

ACアダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込むと起動します。AC アダプターの AC プラグを電源コンセントから抜くと停止します。



注意

- ・本製品には電源スイッチがありません。AC プラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- ・AC アダプターの AC プラグを電源コンセントに差し込んだまま DC プラグを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

3.2 推奨ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本製品と端末を接続するケーブルの長さは 100m 以内にしてください。

また、ケーブルは 100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 の UTP ケーブル（ストレートタイプ）、10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上の UTP ケーブル / ストレートタイプ を使用してください。

3.3 接続のしかた

本製品、ケーブル / ADSL モデム、スイッチ、コンピューターなどネットワーク接続する機器を UTP ケーブルで接続してください。



注意

本製品、ケーブル / ADSL モデム、スイッチ、コンピューターなどネットワーク接続する機器の電源をすべて OFF にするか、電源コンセントから抜いてください。

■コンピューターへの接続のしかた

- (1) 本製品背面の 10BASE-T / 100BASE-TX ポートに UTP ケーブルを接続します。
- (2) ネットワークに接続するコンピューターに 10BASE-T / 100BASE-TX ネットワークアダプターが正しく取り付けられていることを確認して、UTP ケーブルのもう一方をコンピューターのネットワークポートに接続します。



カスケード接続について

カスケードポート（ポート番号 4）を使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続することができます。

■WAN への接続のしかた

- (1) 本製品背面の WAN ポートに UTP ケーブルを接続します。
- (2) ケーブル / ADSL モデムのネットワークポート（RJ45）に UTP ケーブルのもう一方を接続します。



注意

ケーブル / ADSL モデムによって使用する UTP ケーブルの種類（ストレートケーブルまたはクロスケーブル）が異なります。

あらかじめご契約のプロバイダーにご確認ください。

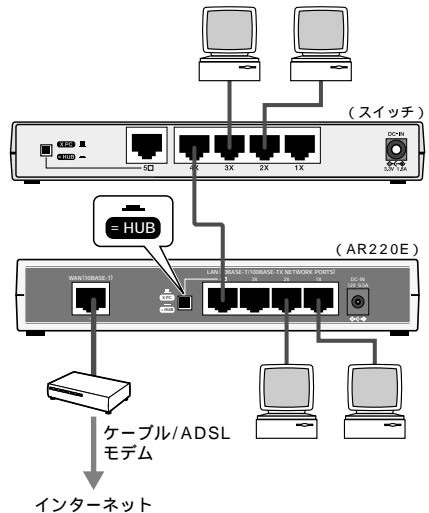


図 3.3-1

4 本製品の設定

Web ブラウザーによる簡単設定から、本製品を設定する方法を説明します。

本製品を設定するために必要なインターネット接続アカウント情報は、ご契約されているプロバイダーやサービスによって異なります。設定の前に、接続するインターネット回線環境（ケーブル/ADSL インターネット接続、PPPoE 接続など）の情報を用意しておいてください。



ケーブル /ADSL によるプロバイダー（ISP）への接続方法には、大きく分けて次の3つがあります。

- WAN 側 IP アドレス（自動取得）(DHCP)
DHCP 機能により IP アドレスが自動的に割り当てられます。
- WAN 側 IP アドレス（固定設定）
プロバイダーにより IP アドレスが固定的に決められている場合に設定します。
- PPPoE
PPPoE 方式を使用しているプロバイダーの場合設定します。

(1) 本製品の専用 AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込みます。

(2) コンピューターを起動します。

*2 コンピューターの設定（6 ページ）での設定が正常に行われている場合、本製品からお使いのコンピューターに IP アドレスがアサインされます。

(3) Web ブラウザーを起動し、アドレス入力欄に「192.168.1.1」を入力して「移動」をクリックします。

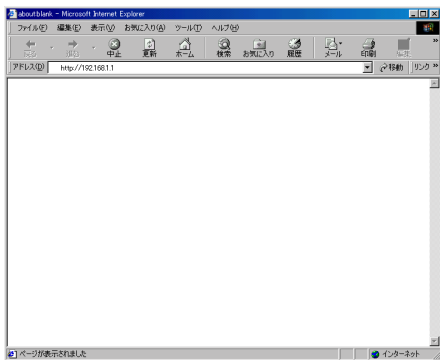


図 4-1

(4) 「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力し、「OK」をクリックします。工場出荷時のパスワードは空欄です。



注意

ここで使用するユーザー名「root」は、プロバイダーから提供されるものとは異なります。

(5) web ブラウザーに設定画面が表示されたら、左側のフォルダ「簡単設定」をクリックします。

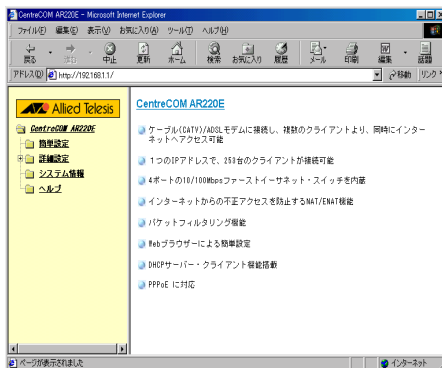


図 4-2



注意

Web ブラウザーの JavaScript 機能が無効になっていると左側のメニューが正常に表示されません。このような場合には、お使いの Web ブラウザーの設定を確認してください。（通常、初期設定では有効になっています）詳しくは、取扱説明書（詳細編）の「付 B-5 JavaScript を有効にする」をご覧ください。

(6) 右側に表示された「WAN 側 IP アドレス（自動取得）」、「WAN 側 IP アドレス（固定設定）」、「PPPoE」からプロバイダーのご契約内容を確認し、該当するものを選択してください。

■ WAN 側 IP アドレス（自動取得）の設定項目



図 4-3

• WAN 側 IP アドレス

起動時取得か通信時取得かを選択します。工場出荷時は起動時取得となっています。

• ドメイン名

プロバイダーより指定されたドメイン名を入力します。プロバイダーから指定されていない場合は、入力不要です。

・コンピューター名

プロバイダーより指定されたコンピューター名を入力します。

プロバイダーから指定されていない場合は、入力不要です。

・DNS サーバー、DNS サーバー 1、DNS サーバー 2

通常は自動取得を選択し、DNS サーバー 1、2 は空欄とします。

プロバイダーから DNS サーバーの IP アドレスを手動設定するよう指示された場合には、固定設定を選択し、DNS サーバー 1、2 に IP アドレスを入力してください(ひとつだけの場合はDNS サーバー 1 に入力)。

■ WAN 側 IP アドレス (固定設定) の設定項目

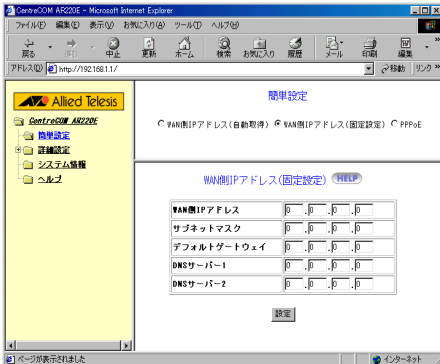


図 4-4

・WAN 側 IP アドレス

プロバイダーより指定された IP アドレスを入力します。

・サブネットマスク

プロバイダーより指定されたサブネットマスクを入力します。

・デフォルトゲートウェイ

プロバイダーより指定されたゲートウェイの IP アドレスを入力します。

・DNS サーバー 1、DNS サーバー 2

プロバイダーより指定された DNS サーバーの IP アドレスを入力(ひとつだけの場合はDNS サーバー 1 に入力)します。

■ PPPoE の設定項目

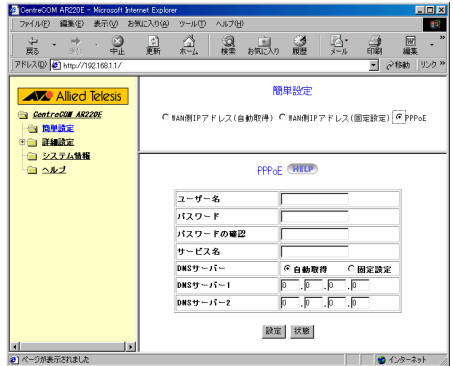


図 4-5

・ユーザー名

プロバイダーより指定されたユーザー名を入力します。

・パスワード

プロバイダーより指定されたパスワード名を入力します。

・パスワードの確認

パスワードと同じものをを入力します。

・サービス名

プロバイダーより指定されたサービス名を入力します。

プロバイダーから指定されていない場合は、入力不要です。

・DNS サーバー、DNS サーバー 1、DNS サーバー 2

通常は自動取得を選択し、DNS サーバー 1、2 は空欄とします。

プロバイダーから DNS サーバーの IP アドレスを手動設定するよう指示された場合 (IP アドレスが指定されている場合) には、固定設定を選択し、DNS サーバー 1、2 に IP アドレスを入力(ひとつだけの場合はDNS サーバー 1 に入力)します。

- (1) 情報の入力が終わったら、「設定」ボタンをクリックしてください。



その他の設定項目や画面の詳細については、「A.Web ブラウザーによる設定可能項目一覧」14 ページを参照してください。

5 クライアント コンピューターの起動

本製品の設定終了後、本製品に接続しているクライアントコンピュータ（カスケード接続しているHUB 又はスイッチに接続しているコンピュータを含む）を起動します。

6 接続の確認

ケーブルの接続及びコンピュータの起動の終了後、インターネットに接続して設定を確認してください。

- (1) コンピューターの画面でWeb ブラウザーを起動し、目的のURLを指定します。

例 <http://www.allied-tesis.co.jp/> を指定した場合

- (2) 目的のホームページが表示されたら完了です。

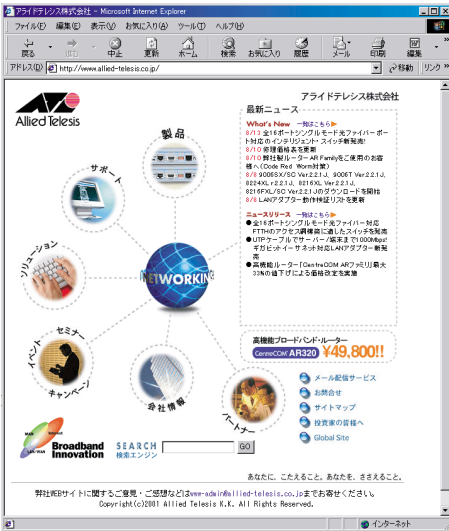


図 6-1

付録

A Web ブラウザーによる設定可能項目一覧

本製品のファームウェア設定項目は、「簡単設定」と「詳細設定」(「システム情報」「ヘルプ」)に分かれています。

設定項目の概要は以下のとおりです。

表 1:

メニュー		機能概要	
簡単設定	WAN側 IP アドレス (自動取得)	IP 設定が自動取得 (DHCP) の場合に選択 (出荷時設定)	
	WAN側 IP アドレス (固定設定)	IP 設定を固定とする場合に選択	
	PPPoE	PPPoE で接続する場合に選択	
詳細設定	システム設定	ファームウェア更新 管理者のログイン名、パスワード設定 / ファームウェアの更新	
	LAN側の設定	LAN側の IP アドレス、サブネットマスクを設定	
	WAN側の設定	WAN側 IP アドレス (自動取得)	IP 設定が自動取得 (DHCP) の場合に選択
		WAN側 IP アドレス (固定設定)	IP 設定を固定とする場合に選択
		PPPoE	PPPoE で接続する場合に選択
	DMZ 設定	指定したコンピュータを WAN 側からアクセス可能にする	
	バーチャルサーバー設定	指定したコンピュータを WAN 側からアクセス可能にする (TCP/UDP ポート指定)	
	パケットフィルタリング設定	IP アドレスベース	IP アドレス指定によるパケットフィルタリングの設定
		ポートベース	ポート指定によるパケットフィルタリングの設定
	DHCP 設定	固定 IP アドレステーブル	本製品に接続するローカル LAN の設定
		除外する IP アドレステーブル	本製品に接続するローカル LAN の設定
BOOTP IP アドレステーブル		本製品に接続するローカル LAN の設定	
スタティックルーティングテーブル	内部ルーティングテーブルにスタティックルーティング情報を追加		
システム情報	本製品のシステム情報を表示		
ヘルプ	各設定項目ごとに説明を表示		

B 付属 CD-ROM の使いかた

以下の場合には、付属 CD-ROM を使って対応するメニューを選択し、次の手順に従って必要なデータをインストールしてください。

表 2:

目的	選択するメニュー	インストールされるソフトウェア
ファームウェアをアップデート (最新のものに更新) したい	ユーティリティ・マニュアルのインストール	「取扱説明書・詳細編 (PDF 形式ファイル)」「TFTP Server」「FirstAid Agent」
本製品の取扱説明書 詳細編 を読みたい	Acrobat Reader のインストール	「Acrobat Reader Ver.4.0」



図 B-1

(1) 付属 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

付属 CD-ROM のメイン画面が自動起動します。

(2) 目的のメニューをクリックします。

画面の指示に従って、インストールを完了してください。

C 取扱説明書 詳細編 (PDF ファイル) の開きかた

「取扱説明書 詳細編 (PDF ファイル)」は、付属 CD-ROM に収録されています。PDF ファイル形式の詳細編を読んだり、印刷したりするには「Acrobat Reader」が必要です。「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、付属 CD-ROM よりインストールしてお使いください。

D 製品仕様

ハードウェア・ソフトウェア仕様

サポート規格	
WAN側	IEEE802.3 10BASE-T
LAN側	IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3x 10BASE-T/100BASE-TX
機能	
	IP(RFC791) TCP(RFC793) UDP(RFC768) ICMP(RFC792) FTP(RFC783) HTTP(RFC1945) DHCP(RFC1541) PPP(RFC1661) PPPoE(RFC2516)
スイッチング方式	
	ストア&フォワード
電源部	
定格入力電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90-110V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.12A
平均消費電力	6.9W (最大7.0W)
平均発熱量	3.6kcal/h (最大4.1kcal/h)

環境条件	
保管時温度	-20～60
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度	0～40
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	
	177(W)×103(D)×32(H)(単位mm、突起物含まず)
重量	
	270g(ACアダプター含まず)
MACアドレスエントリー数	
	約1,000個
MACアドレス保持時間	
	約240秒
メモリー容量	
	メインメモリー：2Mbyte フラッシュメモリー：512Kbyte
適用規格	
EMI規格	VCCIクラスB

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをお願いします。

工場出荷時の設定内容

本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

表 3: 工場出荷時設定

設定内容		初期設定	
簡単設定	WAN 側 IP アドレス（自動取得）	IP アドレス	起動時取得
		DNS サーバー	自動取得
詳細設定	システム設定	管理者ログイン名	root
		管理者パスワード	なし
	LAN 側の設定	LAN 側 IP アドレス	192.168.1.1
		サブネットマスク	255.255.255.0
	WAN 側の設定 WAN 側 IP アドレス（自動取得）	IP アドレス	起動時設定
		DNS サーバー	自動取得
	WAN 側の設定 PPPoE	無通信切断タイマー	10 分
		DNS サーバー	自動取得
	DHCP 設定	DHCP 機能	有効
		開始アドレス	192.168.1.11
終了アドレス		192.168.1.254	

E 保証

本製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはそ

の他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

F ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、この取扱説明書の巻末の調査依頼書をコピーしたものに必要事項を記入し、下記のサポート先に FAX してください。記入内容の詳細は、『調査依頼書のご記入にあたって』をご覧ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Tel: ☎ 0120-860-772
月～金(祝・祭日を除く) 9:00～12:00 13:00～18:00
Fax: ☎ 0120-860-662
年中無休 24 時間受付



NTT サザンクロスルータシステム AR220T を使用のお客様さまは、NTT サザンクロスお取扱い相談センターまで直接お問い合わせください。

* 製品フロントラベルに NTT ロゴシールがあります。

Tel: ☎ 0120-737-470

F.1 調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。ご提供いただく情報が不十分な場合には、障害の原因不明に時間がかり、最悪の場合には障害の解消ができない場合もあります。迅速に障害の解消を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるように、以下の点にご記入ください。記入用紙で書き切れない場合には、プリントアウトなどを別途添付してください。なお、都合によりご連絡が遅れる事もございますが、あらかじめご了承ください。

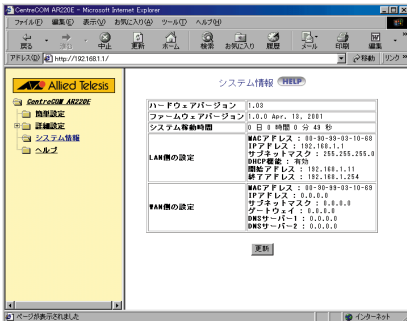
1 ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン

- 製品名、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品底面のバーコードシールに記入されています。



(例)

- Web ブラウザーを起動して「4 本製品の設定」の手順に従い、Web ブラウザー設定画面を表示して下さい。左側のフォルダ「システム情報」をクリックします。



表示された画面の内容を調査依頼書の所定の欄に記入して下さい。画面のプリントアウトを添付していただいても結構です。(上の画面は一例です)

2 回線について

ご契約のインターネットサービスプロバイダー (ISP) 名またはケーブルテレビ (CATV) 名を記入してください。

3 お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況でまたどのような頻度で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。

4 ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

F.2 最新ファームウェアの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアは、弊社のホームページから入手することができます。

Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザーを使用して、次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.allied-teleis.com.jp/>

「サポート」のページに進んで、ダウンロード情報を確認してください。

G おことわり

- 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2001 アライドテレシス株式会社

H 商標

CentreCOM はアライドテレシス株式会社の登録商標です。Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

I マニュアルバージョン

2001 年 4 月 Rev.A 初版

2001 年 8 月 Rev.B 誤記訂正・説明追加

memo

調査依頼書 (CentreCOM AR220E 1/2)

年 月 日

一般事項

1. 会社名 (個人名):

部署名:

ご担当者:

ご連絡先住所: 〒

TEL: ()

FAX: ()

2. 購入先:

購入年月日:

購入先担当者:

購入先 TEL: ()

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用ハードウェア機種のシリアル番号、製品リビジョン、ファームウェアバージョン



CentreCOM AR220E

S/N _____ Rev _____

ファームウェアバージョン Ver. _____

2. システム情報

ハードウェアバージョン	
ファームウェアバージョン	
システム稼働時間	日 時間 分 秒
LAN側の設定	MACアドレス : IPアドレス : サブネットマスク : DHCP機能 : 開始アドレス : 終了アドレス :
WAN側の設定	MACアドレス : IPアドレス : サブネットマスク : ゲートウェイ : DNSサーバー1 : DNSサーバー2 :

3. ご契約のインターネットサービスプロバイダー (ISP) 名またはケーブルテレビ (CATV) 名

調査依頼書 (CentreCOM AR220E 2/2)

お問い合わせ内容

設置中に起こっている障害

設置後運用中に起こっている障害

ネットワーク構成図

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

memo